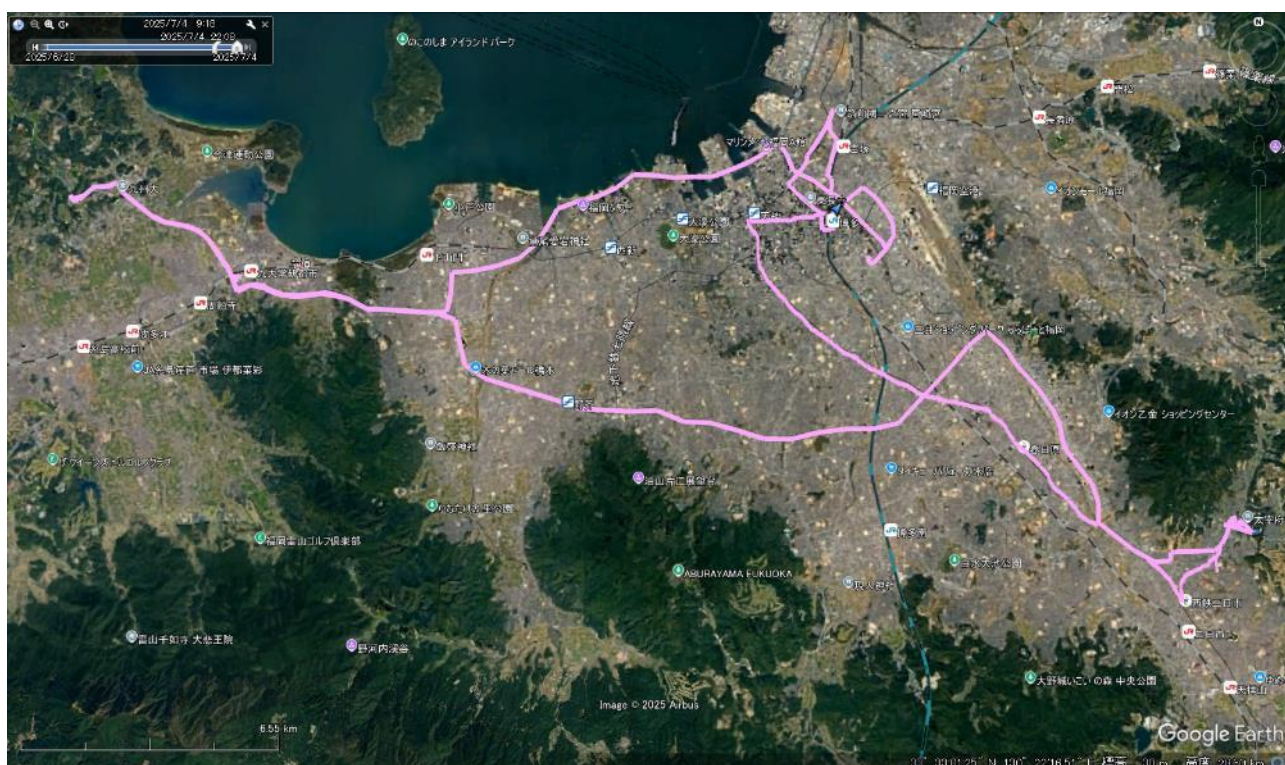


☆12日目（7月4日）：福岡近郊（バイク走行無し）



行程地図（12日目）_記録 OLYMPUS TOUGH TG-6

本日は、バイク走行無しの休養（観光）日。まずは、太宰府天満宮に行くために博多から、天神南まで地下鉄で移動し、そこから西鉄で二日市乗り換えで太宰府の一つ手前の五条駅まで行った。ここは、かつて母の実家があり、私の幼少期から学生時代までほぼ毎年訪れていたひとつの古里である。いつも太宰府に来ると、まずはもう無き実家の跡地を訪れて、祖母や母を思い出して感傷に浸るのである。五条駅から実家までの数百メートルは、温暖化のせい、年を取ったせい、あの頃より遙かに身体に応える暑い道のりだった。角の電気屋さんも遂に店を閉めてしまったようだ。実家の跡地にはもう何十年も前から他の家が2軒建っている。奥にあった病院もすっかりきれいな大病院になっている。毎朝早起きして、この先の道沿いのクヌギの木にカブトムシを採りに行ったっけ。私の懐古心も充分満足したようなので、また五条に戻って西鉄で太宰府まで移動した。今までは太宰府までは一駅なので歩いていたが、この暑さではどうも歩く気がしない。この怠惰、どうしても年のせいにはしたくない。



写真 698. 大きく変わった西鉄五条駅



写真 699. 母の実家はもうない

今回、天満宮に来たかった理由は、“令和の大改修”に伴う、特別な「仮本殿」が、期間限定で参拝できるからだ。
駅からの参道は基本的には、大きな変化はないが、他の観光地と同じで古い店と新しい店が混在して、各所にインバウンド向け対応が施されている。昔は境内は砂利道で鳥居に投げられた小石が乗っていた記憶がある。



写真 700. 銘菓「梅ヶ枝餅」はまだ健在のようだ



写真 701. おしゃれなスターバックスも出来ていた

まだ、朝早いので人が少なくゆっくり歩けたが、開店前の店もちらりほろり。名物の焼きたての「梅ヶ枝餅」にも、猛暑から触手が伸びない。神社の境内を進むと、見たこともない屋根に木が生えた社殿が見えてきた。これが仮本殿だ。



写真 702. 昔は鳥居に小石が乗っていた



写真 703. 太鼓橋を渡り本殿へ



写真 704. 屋根に木が生えた仮本殿

いつもの飛び梅の後ろに鎮座する本殿とは違った面白い景色が見れてよかった。また 2027 年に新本殿が出来たときに訪れたいと思う。



写真 705. 仮本殿の説明看板



写真 706. 七夕も近いので所々に飾りが

境内には、いろいろな生き物が飾られている。牛、鷺、狛犬、麒麟・・・ブロンズの鷺はかわいらしいフォルムで、最近の物かと思えば、嘉永 5 年（1852 年）に納められたものとのこと。当時から、このような近代的で秀逸なデザインがあったとは驚きである。ここには何度も来ているのに、初めて知った事実。

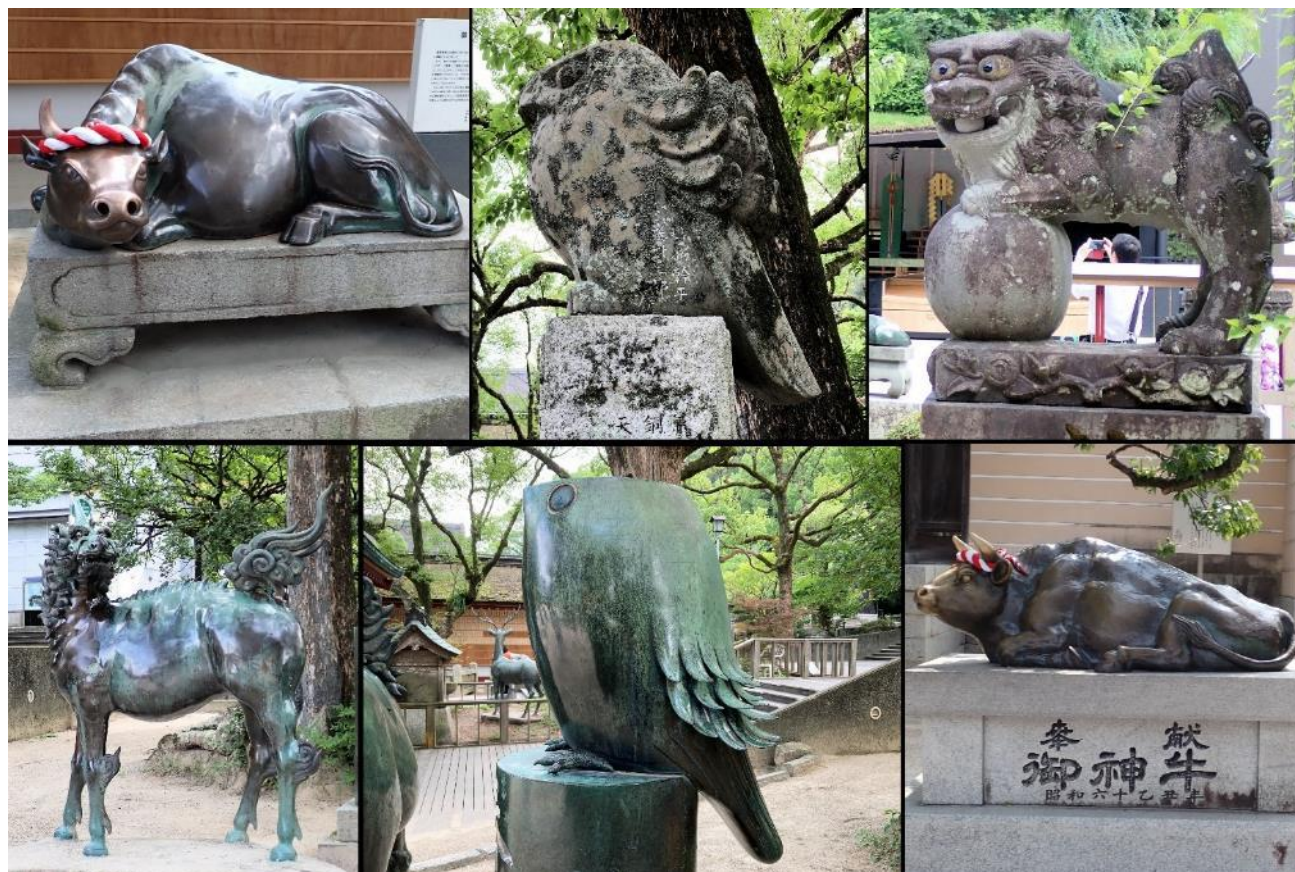


写真 707. 境内に設置されている生き物

天満宮の裏には、2005 年にできた九州国立博物館がある。まだ行ったことがないので、外観だけ覗いてみることにした。境内から脇の小道に進むと博物館の入口が見えてきた。ここから、長いエスカレーターで上り、そこに博物館の建屋の入口がある。天板宮側は、裏口のようなのである。



写真 708. 九州国立博物館裏口



写真 709. 長いエスカレーター



写真 710. 開館前なので人が居ない



写真 711. 巨大な施設である

かなり、立派なお金が掛かったであろう施設である。今回は時間が無く中を見学できないが、次回は是非とも見学したいと思う。天満宮に引き返す途中、昔から有る遊園地がまだ健在であった。なかなかレトロ感が増強されていた。



写真 712. 「だざいふ遊園地」



写真 713. 天満宮の境内を抜ける

天満宮の境内を抜けて、参道に出る。もう、観光客でごった返している。外国人も多い。朝見たスターバックスで一服、クーリングタイム。そのあと、太宰府駅まで降りて昼食。しかし、こうしてみると駅も立派になったなー。駅の裏に、有名ラーメン店の「一蘭」の支店があり、中華系の観光客の長蛇の列。どこの「一蘭」も今はそんなに並んでいないのに、彼らにとって日本旅行で日本のラーメンを食べることが一種のステータスになっているのだろうか。私は、隣の寂れた（失礼）うどん・そば屋さん「梅のくら」で「飛梅とろろ蕎麦」を頂いた。暑いときは、ラーメンよりこちらの方が正解だと思うよ。



写真 714. たまにはコッテリ系もいいでしょう



写真 715. 太宰府駅も立派になりました



写真 716. 「一蘭」には、中華系の客の長蛇の列
午後は、福岡の親戚の案内で九州大学伊都キャンパスの農学部の昆虫学資料展示室を見学させていただいた。



写真 717. 「飛梅とろろ蕎麦」美味しかったよ



写真 718. 九州大学伊都キャンパス



写真 719. 江崎博士の使用していた机



写真 720. 膨大な量の標本が保管されている



写真 721. 世界的に貴重な標本が沢山有る

それから、親戚回りをしてから屋根のある屋台のような素敵なお店で宴会を開いていただいた。メのラーメンも美味しかったなー。懐かしい方々にお会いできて楽しい時間でした。ご馳走様でした。



写真 722. 屋根のある屋台？焼き鳥が美味しい



写真 723. 久しぶりの再開で楽しかったです



写真 724. メの博多ラーメン



写真 725. TV ロケにも使われたお店

最後は、ホテルまで送っていただいて、コンビニで明日の朝食を買って、シャワーを浴びて就寝。

次ページ (13_1) https://kurotora2.michikusa.jp/event/2025_Kyushu/2025_kyushu_13_1.pdf